

日本橋丸上通信

VOL.40 平成30年1月発行 発行人/上達 功



株式会社 丸上

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-14
[TEL] 03-3662-4416 / [FAX] 03-3666-2603

この通信に対するご意見お問い合わせは上達まで
直接お願いします。

Tel : 070-5518-0156

Mail : isaojotatsu@marujo.jp

HP : <http://marujo.jp/>

Blog : <http://marujo.jp/president/>



新年明けましておめでとうございます。日本橋丸上三代目の上達です。

さて、昨年末に決めた今年の僕の個人的なテーマは“笑”です。やっぱり売れているお店には笑顔が多いですし、明るいという共通点があると思います。丸上も1年間笑顔のたえない会社にしていきたいと思っています。

・・・と思っていた矢先に今年の成人式で呉服業界の信頼を著しく傷つける、残念なニュースが飛び込んでまいりました。これまで丸上通信では楽しい話題を中心に書いてきましたが、さすがにこの事件について触れない訳にはいかないと思い、個人的な意見を書いてみたいと思います。事件発覚直後でするので、なにぶん正確でない情報も含まれているかもしれませんが、ご了承ください。

1月8日成人式当日に「はれのひ」が業務を停止し、多くの方が振袖を着られずに成人式に出席できませんでした。各種報道を見ていると、着物を着て成人式に参加することを楽しみにしていた方を裏切る行為で非常に憤りを感じました。それと同時に我々の仕事は着物を提供するだけでなく、お客様の人生の節目のとても大切な思い出作りのお手伝いをしている事を再度認識して、責任とプライドを持って仕事に取り組まなければならないことを痛感しました。

今回の件については経営者の資質が最大の問題ですが、社会的には呉服業界全体の体質として捉えられる報道もあり、業界をあげて信頼回復に取り組んでいく必要があると思います。そのなかで成人式当日に困っている方に速やかにお手伝いされた呉服店様などは本当に素晴らしいと思います。また、聞くところによりますと来年、再来年の成人対象者の方も多く被害にあわれており、それに対しても多くのお店が支援を表明されています。お客様にとって一生に一度の思い出を素晴らしいものにしていただければと思っています。ちなみに業界紙である「ステータスマーケティング」を発行しているきもの宝飾社さんが「はれのひ株式会社被害者の会」を立ち上げましたが、現時点では被害者の方にこのような支援活動を紹介することを中心に行っていくそうです。

ちなみに政府は今月の22日から始まる通常国会で、成人年齢を18歳に引き下げる民法改正案を提出する方針で、2022年からの施行の可能性があるそうです。いまこそ業界としてお客様の満足度を高める努力をして、もっと笑顔を増やしていきたいですね。上達 功

日本橋丸上通信



株式会社 丸上

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-14
〔TEL〕03-3662-4416 / 〔FAX〕03-3666-2603

この通信に対するご意見お問い合わせは上達まで
直接お願いいたします。
Tel : 070-5518-0156
Mail : isaojotatsu@marujo.jp
HP : <http://marujo.jp/>
Blog : <http://marujo.jp/president/>



VOL.41 平成30年2月発行 発行人/上達 功

いつもありがとうございます！日本橋丸上8代目の上達功です。まだまだ寒い日が続いていますが、節分が終わり暦の上では春となりました。日の出が日に日に早くなって確実に春が近づいてきている事を感じますね！今年の節分は仕事が休みだったので、自宅のそばの目黒不動尊の豆まきに子供たちと初めて行ってきました。本堂の階段から、お坊さんたちが福豆を投げてくれますが、参拝客が多く大人はほとんど取れません。でも小学生以下には特別ゾーンがあるので、うちの子供たちが頑張って8個の福豆を取る事ができました。今年も開運招福、家内安全が達成される事を期待しています。

さて、今年に入ってから仕入先様と会話をしていると、みなさんが口を揃えて困っているのは、糸価の高騰です。1月26日の京都新聞でも「生糸高騰 悩む和装製造」という見出しで取り上げられていました。高騰している理由は、中国やインド、ヨーロッパの生糸需要が拡大しているのに対し、桑畑の大規模な転作と蚕の病気が重なった結果だそうです。記事によりますと、中国生産生糸は日本国内の生糸需要の約8割を占め、ほとんどが和装用だそうです。その輸入価格は年々上昇しており、現在はドル建てで過去最高になっているそうです。これは需要と供給の関係ですので、しばらくは価格が下がる要因はなさそうです。和装需要が低迷する中で本当に困った問題だと思います。本来緩やかなインフレであれば、早く商品を仕入れた方が得になるので、悪い事ばかりではないのですが、現在の市場においてはそう簡単にはいかないのが実情です。

僕自身が一番不安視しているのは、この高騰をきっかけにメーカーの生産意欲の減少が急速に進むことです。ここ数年でエンドユーザーの着物に対する価値感はあるから使用・体験に大幅に変化してきました。だからこそ魅力的な商品を生産してもらい価値を伝え、エンドユーザーにお求めいただく事がとても大切ですが、今のままではその起点がうまくいかなるリスクがあります。

日本橋丸上としましては、やはり商品本位で取り組まなければいけないので、魅力的な商品を調達するために、メーカーとの作り込みを増やしていくことになり、結果としてオリジナルの商品の比率が上がってくると思います。大きな流れの中で、変えられないこともたくさんありますが、状況をよく理解した上で、丸上だからできる事を増やしていつてどうにかこの局面を乗り切っていきたいと思っています。

日本橋丸上 上達 功

日本橋丸上通信



株式会社 丸上

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-14
(TEL) 03-3662-4416 / (FAX) 03-3666-2603

この通信に対するご意見お問い合わせは上達まで
直接お願いいたします。

Tel : 070-5518-0156

Mail : isaojotatsu@marujo.jp

HP : <http://marujo.jp/>

Blog : <http://marujo.jp/president/>



VOL.41 平成30年3月発行 発行人/上達 功

3月に入り東京はだいぶ暖かい日が増えて来ました。先日、自宅そばの公園に行ってみると早くも河津桜が満開になっていました。今年の天気予報によると、全国的に染井吉野の開花は早いそうです。日本人はやっぱり春を待ち焦がれてしまいますね。もうすぐ着物でのお出かけに最高の季節がやってまいります。丸上一同着物でのご来店をお待ちしております！さて、去る2月21日に東京堀留で初めて“巻王（まきおう）”というイベントが開催されました。何のイベントかというと、業界関係者（プロ）による反物巻の速さと美しさを競う催しです。東京織物卸商業組合の和装振興次世代プロジェクトのメンバーが中心となり、京都織商の若手の精鋭メンバーの皆様のご協力のもと実現しました。

ルールとしては反物を巻くスピードに加え、綺麗さを判断するために、巻き終わった反物の幅を高級電子ノギスで測定します。そして、巻いた時間+反物幅×2の式から導き出されたポイントの少ない人が勝者となります。また、幅が40cmをこえた場合は、残念ながら失格となってしまいます。

東京大会は12名の参加者によるトーナメント戦で行われました。丸上からは、入社18年目の吉野剛史さん、5年目の藍澤慶太さんの精鋭二人が参加し、藍澤さんが見事準優勝を果たしました。優勝は福和商事の奥田さんでした。残念ながら吉野さんは一回戦敗退でしたが、その一回戦の相手が優勝した奥田さんでしたので、この一回戦が事実上の決勝戦だったかもしれませぬ（笑）。

今回のイベントは堀留の呉服問屋の社員が中心でしたが、小売店様の方のご参加もあり、また京都の方による司会と音楽が場を楽しませてくれました。応援も含めると50名を超える業界関係者が集まったと思います。丸上からも8名の社員が応援に駆けつけました！やっぱり自分の会社のメンバーを応援するのは楽しいもので、想像以上に盛り上がりました！

なお、準優勝の藍澤さんは来たる3月14日に京都で開催される全国大会（？）の出場権を得ました。京都では過去に何回か巻王が開催されていて、聞くところによるとこれまでに京都で出された記録はものすごいようで、今回の準優勝の記録では全然歯が立たないようです。ちなみに今回の東京では40秒を切るとかなり早いタイムでしたが、京都では30秒前半を出す方がたくさんいるそうです。藍澤さんはまだまだ若いので、大会まで一生懸命練習してもらい健闘してくれることを期待しております！

日本橋丸上 上達 功

日本橋丸上通信



株式会社 丸上

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-14
[TEL] 03-3662-4416 / [FAX] 03-3666-2603

この通信に対するご意見お問い合わせは上達まで
直接お願いいたします。
Tel : 070-5518-0156
Mail : isaojotatsu@marujo.jp
HP : <http://marujo.jp/>
Blog : <http://marujo.jp/president/>



VOL.43 平成30年4月発行 発行人/上達 功

いつもありがとうございます。日本橋丸上三代目上達功です！今年は桜の開花が例年以上に早く、東京は早くも新緑の季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか？

さて、日本橋丸上の毎年恒例の年間最大催事である“秋の呉選会”が近づいて参りました！今年も5月6日（日）から5月9日（木）まで浅草台東館にて開催いたします。2月の丸上通信でも書きましたが、糸価が上昇してメーカーさんが大変ものづくりしにくい環境ですが、丸上は呉選会に向けて積極的に商品製作と仕入れをおこなっております。全国の産地・メーカーの選りすぐりの商品を一堂に集めますので、是非この機会に浅草までお越しいただけますようお願いいたします。

また、好評につき今年で第5回を迎えます東京問屋4社合同企画ですが、今回は5月8日（火）18時より、昨年と同じ浅草セントラルホテルアネックスにて、真打の女流落語家林家ぼたんさんを招いて、コミュニケーションを潤滑にする落語テクニックについての笑って学べるセミナーを開催いたします。ぼたんさんは、長い間笑点で活躍された、林家こん平さんのお弟子さんで、2016年に真打に昇進されました。（ちなみに真打とは落語家の階級の最上級者で、興行の最後の出番で出演できる権利を持つ位です。）また、Peony（ピオニー）という落語を中心とした演芸や講演を行う組織も運営されております（<https://peony2017.com/>）。

小売店様ではお客様と着物を着るイベントを開催されるところが増えておりますが、そのような対応もできるやうなので、この機会にご参加いただけますと、参考になると思います。そして、今年も東京キモノショーが5月2日（水）から5月6日（木）まで日本橋三井ホールで開催されます。昨年は約15000人もの来場があった一大着物イベントですので、会場にお越しただけで、東京の着物を楽しむ人達目線での、今の業界最前線がわかるかもしれません。イベントは着物に限らず茶道、華道、能など和 문화全体を紹介しながら、アートの側面からも作りあげられています。今回の案内状に内容が紹介された公式ガイドブックを入れておきますので、是非ご覧になってください。なお、ガイドブックをお持ちになると1冊につき2名様まで入場券が割引になります！また、日本橋の様々なお店にご協力いただき、スタンプラリーによる抽選会にも使えます！！エンドユーザーの方と一緒に日本橋散策をするのにもちょうどいいイベントです。そんな訳で5月は着物イベント盛りだくさんです。是非春の東京にお出かけください！

日本橋丸上通信



株式会社 丸上

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-14
〔TEL〕03-3662-4416 / 〔FAX〕03-3666-2603

この通信に対するご意見お問い合わせは上達まで
直接お願いいたします。

Tel : 070-5518-0156

Mail : isaojotatsu@marujo.jp

HP : <http://marujo.jp/>

Blog : <http://marujo.jp/president/>



VOL.44 平成30年5月発行 発行人/上達 功

若葉萌える好季節となりました。日本橋丸上三代目の上達功です。先日浅草台東館にて開催いたしました“秋の呉選会”では、大変多くのお客様にお越しいただき、ありがとうございました。あらためてお礼申し上げます。

さて、呉選会の会場でお気づきになった方もいらっしゃると思いますが、丸上ではこの4月に2名の新入社員を迎えることが出来ました。室野さんと米山さんです。

室野さんは、青森県八戸出身で学生時代はアイスホッケー部に所属していました。米山さんは新潟県柏崎市出身で、ハードルの選手でした。二人とも爽やかなスポーツマンです。これからいろいろな場面で皆様にお世話になることがあると思いますが、どうぞよろしくお願ひいたします。二人が入社してくれたおかげで、20代、30代、40代の社員数がほぼ同数になり、だいぶバランスのいい社員構成になってきました。50代が少ないのが丸上の弱点ですが、この部分は今からではどうしようもないので、チームワークで乗り切りたいと思います。最近、お客様や仕入先様から社員の採用と定着のコツを聞かれますが、僕がいつも気をつけていることは、採用前に丸上のことをよく知ってもらう事です。

入社前と入社後のギャップが多いと、新入社員は嘘をつかれたと思い、会社に不信感を持ってしまいます。どんな会社にもいい所と悪い所がありますが、そのことを丁寧に話し、納得してもらったうえで入社となれば、自ずとそのギャップは最小限に抑えられると思います。それと、最近身にしみて感じるのは丸上のイズムを伝えることです。やっぱり社員がある一定の方向を目指して努力できるようにするには、基本の考えの徹底が大切だと思っています。丸上のイズムは創業者の上達次郎によって作られました。僕は実際に会ったことはありませんが、今でも多くの方から創業者の話聞かせてもらい、とても勉強になります。後継者としては、新しい事を取り入れつつも創業者のイズムをしっかり守り、伝えていきたいと思っています。

さて、6月は昨年に引き続き2回目の京都売出を開催します。日程は5月31日(木)午後から開場し、6月1日(金)2日(土)4日(月)の四日間、京都室町通りの丸池藤井様の2階展示場で開催いたします。なかなか東京まで出にくい西日本のお客様に、丸上の商品を一堂にご覧いただく絶好の機会です！お忙しいなか大変恐縮ですが、皆様のご来場をお待ちしております。

日本橋丸上 上達 功

日本橋丸上通信



株式会社 丸上

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-14
〔TEL〕03-3662-4416 / 〔FAX〕03-3666-2603

この通信に対するご意見お問い合わせは上達まで
直接お願いいたします。

Tel : 070-5518-0156

Mail : isao.jotatsu@marujo.jp

HP : <http://marujo.jp/>

Blog : <http://marujo.jp/president/>



VOL.45 平成30年6月発行 発行人/上達 功

うっとうしい梅雨の季節に入りましたが、皆様いかがお過ごしですか？今月が終わるともう今年も折り返しという事で、時の早さに驚いています。

さて、先日第2回京都売出も無事終わり、昨年よりも多くのお客様にご来場いただきました。誠にありがとうございました！その京都売出でお披露目しましたが日本橋丸上ではこれから、着物のバーチャルフィッティング装置を販売することになりました！この装置はゴールドマンウィークに日本橋三井ホールで開催された東京キモノショーに出展し、プレスリリースをかけたところテレビ東京のワールドビジネスサテライトでも紹介いただいた注目のマシンです！この装置の前にお客様が立つと自動的に骨格を認識して、着物の着姿を表示します。骨格を認識しますので手の動きに合わせて袖も自然に動きます。この機械を導入することにより、エンドユーザーのたくさんの着物を簡単に試着したいという要望に応えられると思ったのが、取り扱いを始めた理由です。チラシを案内状に同封しておきますので、是非ご覧ください！このシステムの特長としましては、2Dの画像データを元に着姿を表示できるので、データ登録が簡単だということです。フォトショップ初心者の僕でも写真の登録が簡単になりました！

この装置は使い方によってはとても有効な使い方できると思います。例えば人通りの多いところでは設置するだけで、お客様が足を止めて楽しまれると思いますので、入店のきっかけ作りに使えると思います。実際に東京キモノショーでもいつも人だかりができていました。また、振袖展などのピーク時にお客様にお待ちいただく際に、ご自身で着てみたい柄を体験していただければ、待ち時間の有効活用と、接客時間の短縮にも活用できます。それと着姿を写真で撮ってもらい SNS に拡散してもらいお店の認知度が上がるなどなど。

先日読んだ本の中で、“会社が向き合っている本当の敵はライバル社ではなく『時代』だ。”というフレーズがありました。これからは“人材の時代”になると思います。とはいえ、せっかくの人材は本当にその人にしかできない仕事に集中していかなければ、効率が上がりず限られた人材は異業種に流れていくかもしれません。この機械に限らず、これからの時代の変化に対応するために色々な行動をしていく必要があるのではないのでしょうか？

なお、バーチャルフィッティング装置は今度の半期決算市でも丸上に展示しておきますので、是非ご来場いただき試してみてください！

日本橋丸上 上達 功

日本橋丸上通信



株式会社 丸上

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-14
(TEL)03-3662-4416 / (FAX)03-3666-2603

この通信に対するご意見お問い合わせは上達まで
直接お願いいたします。

Tel : 070-5518-0156

Mail : isaojotatsu@marujo.jp

HP : <http://marujo.jp/>

Blog : <http://marujo.jp/president/>



VOL.46 平成30年7月発行 発行人/上達 功

今年は6月29日に関東地方は梅雨明けしまして、東京はいつもより早く暑い夏がやってきました。暑いといえはワールドカップは盛り上がりましたね！大会前に監督交代などゴタゴタもありましたが、日本代表は見事予選リーグを突破しベスト8まであと少しという活躍をしてくれました！日本のサッカーのレベルは着実に上がってきている感じはしますし、次世代の10代には有望株が多いそうで、4年後8年後が楽しみです！

さて、10代といえは去る6月18日に成人年齢を20歳から18歳に引き下げた改正民法が参議院本会議で可決成立しました。また、4年後の2022年4月1日からの施行も決まりました。今回の丸上通信では、やはり成人年齢の引き下げに伴う成人式のあり方について現時点で考えられることを僕なりに書いてみたいと思います。

まず、2022年4月からの施行ということは、逆にいうと2022年の1月の成人式まであと4回はこれまでとほぼ同じような段取りで開催されることが決まったこととなります。この情報をしっかり認識することが最初に必要です。というのも、こういった情報は正確な実施時期を知らなく過度の反応をする方もいますので、お客様から問い合わせがあった時に、「施行は2022年4月なので、来年の成人式はこれまで通り開催されるのでご安心ください。」と消費者に的確にお伝えしなければなりません。

そして、次にしなければいけないのは和装業界で共通認識を持つことだと思います。これまで全日本きもの振興会や日本きもの連盟などで様々な活動をされてきましたが、行政の考えは、法案が通ってからでない、対応の検討すらしない状況だそうです。逆に今こそ行動を起こす時ですが、その前にどのような方向性を打ち出すのかを決めないといけません。そしてちょうど今年の9月5日(水)に9年ぶりの“きものサミット”が京都で開催されます。ここで協議されるテーマの一つに「成人式への対応について」もありますので、この機会にしっかりと統一された指針を決めてもらいたいです。

ちなみに個人的には、実際に成人式を運営する自治体の方々は、現状維持の方が仕事も増えないですし、トラブル発生リスクも最小限にできると思います。また、18歳で無理に成人式を行っても、受験などもあり参加者減が見込まれます。また、お酒やタバコに関しても20歳からということですので、名称だけ“八丁の集い”などに変えて、式典はこれまで通りの方がみんな幸せという流れを作るのが一番かと考えています。

上達 功

日本橋丸上通信



株式会社 丸上

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-14
〔TEL〕03-3662-4416 / 〔FAX〕03-3666-2603

この通信に対するご意見お問い合わせは上達まで
直接お願いいたします。
Tel : 070-5518-0156
Mail : isao.jotatsu@marujo.jp
HP : <http://marujo.jp/>
Blog : <http://marujo.jp/president/>



VOL.47 平成30年8月発行 発行人/上達 功

いつもありがとうございます。お盆が過ぎ、いよいよ秋商戦が間近となってまいりました。

さて、今回は多くの方からご質問いただきましたアメリカンフットボールの悪質タックル問題について書きたいと思います。僕は高校、大学、社会人と約10年間アメフトをしてきました。ポジションは今回悪質タックルをしてしまったディフェンスラインでした。

ごこままでの問題の経緯を簡単にまとめると5月6日に行われた関西学院大学と日本大学の交流戦で開始直後、関西学院の攻撃プレー終了後に日大の選手が関学のクォーターバックに後方から悪質なタックルを行い当該選手がその後退場になりました。そしてそのプレーの動画がYoutubeなどで拡散され大きな問題となり、加えて悪質タックルが監督の指示という報道がされ、当該選手や監督の会見なども行われました。そして日大アメフト部が再建計画を作ったものの、大学体育局との連携不足などから、関東学生フットボール連盟から秋のリーグ戦参加が認められず、実質来期の2部落ちが確定し、部の存続の危機に陥っています。

今回の一番の被害者は日本大学の現役選手です。でも残念ながら今回のフットボール連盟の決断は、その一番の被害者がもう一度被害者になる結果となりました。青春の全てをアメフトにかけて努力してきたのに、自分では選択できなかった監督に未来を奪われてしまったのです。また、報道を見ているとアメフト部以外の大学の体質にもかなり問題がありそうですが、個人的にはアメフト連盟にもっと頑張ってもらいたいと思っています。学生たちは精一杯チャンスを求めていると思いますが、それと同時に大学や世間とも戦わなければなりません。だからこぞ、社会経験豊富な指導者による組織の改善支援が必須だと思います。ここで大切なのはどの視点で問題を見るかです。確かに連盟として「こんな体質のチームがあることはけしからん。ちゃんと改善したら試合に参加させてやる。」という考え方もあると思います。でももう一段視点を高めることにより、「アメフトの大好きな若者の機会を失わせることはアメフト界全てのマイナスである。なので、自分の事と考え再建の支援をできる限り実施する。」という考えの方がカッコいいと思います。何しろマイナースポーツのアメフトがこれだけ世間の注目を集めたのは初めてですので。このピンチをアメフト界はチャンスにして、みんなが憧れるスポーツにするべきです。

このように抽象度をあげて物事を見ることは呉服業界でも大切になると思います。僕も安易に自己の利益だけでなく、業界全体のプラスも考えて行動していきたいと思っています。

日本橋丸上通信



株式会社 丸上

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-14
〔TEL〕03-3662-4416 / 〔FAX〕03-3666-2603

この通信に対するご意見お問い合わせは上達まで

直接お願いいたします。

Tel : 070-5518-0156

Mail : isaojotatsu@marujo.jp

HP : <http://marujo.jp/>

Blog : <http://marujo.jp/president/>

Instagram : <https://www.instagram.com/nihonbashigonomi/>



VOL.48 平成30年9月発行 発行人/上達 功

今年は大雨や台風が大変厳しい夏でしたが、じょじょに秋風が心地よい季節になってきましたね。いつもありがとうございます。日本橋丸上三代目の上達です。

さて、日本橋丸上では先月から公式の Instagram (インスタグラム) ページを開設しました (<https://www.instagram.com/nihonbashigonomi/>)! 是非フォローよろしくお願いいたします! なぜ Instagram を始めることにしたかと申しますと、丸上の強みを客観的に考えた時に、やはり豊富な商品をしっかり保有している事だと思えます。しかし、これらの商品もお客様に見ていただき、知っていただかなくては、宝の持ち腐れだと思えました。Instagram 開設にあたっては若手の社員を中心に様々な提案をしてくれて、前向きな事がとても嬉しかったのと、僕自身大変勉強になりました。

また、Instagram 開始と同時に丸上ホームページ内に、“日本橋好み” コーディネートを提案するページも作成しました (<http://marujo.jp/nihonbashi/>)。こちらのページはスタイリストの吉澤暁子さんに監修いただいています。

このサイトは全国の産地の商品を色々組み合わせ、具体的なコーディネートを提案することにより商品の魅力をもっともっと紹介していきたいと思えます。

なお、先月の案内状からこのページのポストカードを作成し同封しております。この案内状にも入れてありますので、是非ご使用ください。また多少余裕を持って作成しておりますので、追加で欲しい方などいらっしゃいましたら担当の販売員にご相談ください。

今後ですが、Instagram は丸上の営業日は毎日、日本橋好みコーディネートは毎週金曜日に更新していく予定です。また、その中で特にオススメのものをポストカードにして毎月案内状に入れていきたいと思っています。

実は、これらの活動には二つのテーマがあります。それは“視覚的提案”と“継続”です。まず、“視覚的提案”ですが、スマホが普及し情報過多の時代は文章を読んでもくれる方が間違いなく減っています。だからこそ直感的に商品を知ってもらえる“視覚的提案”の量を増やす必要性を感じました。(という文章を書いているのが微妙ですが..)

また、“継続”についてはこの丸上通信を丸4年、ブログを8年以上休まず続けてきた僕の実体験から、今の時代は短期的に成果をあげる事が非常に難しくなった一方、“継続”すると少しずつですが確実に成果が出てくる事を学び、大切にしたいと考えています。

上達 功

日本橋丸上通信



VOL.49 平成30年10月発行 発行人/上達 功

株式会社 丸上

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-14
〔TEL〕03-3662-4416 / 〔FAX〕03-3666-2603

この通信に対するご意見お問い合わせは上達まで
直接お願いいたします。

Tel : 070-5518-0156

Mail : isaotatsu@marujo.jp

HP : <http://marujo.jp/>

Blog : <http://marujo.jp/president/>

Instagram : <https://www.instagram.com/nihonbashigonomi/>



日本橋丸上三代目の上達功です。空は高く澄み渡り、さわやかな季節となりましたが、皆様いかがお過ごしですか？先日開催させていただきました、“大躍進展”には本当にたくさんのお客様に足を運んでいただきましてありがとうございました。今年は月末に台風が来て、10月1日は在来線の運行にかなり影響が出たようで、ご迷惑をおかけしました。そういえば6年前に浅草で社長就任売出しをした時も大型の台風が来た事を思い出しました。やっぱり“日頃のおこない”を大切にしていきたいと思います。

さて、9月5日に京都のグランヴィアホテルで開催されたきものサミットに参加して来ました。僕が参加したのは商慣行の部会で、パネリストとして少しだけお話しさせていただきました。昨年から経済産業省の和装振興協議会などの会議にも参加させていただき、この問題を議論していますが、結果からするとやはり産地の後継者不足がかなり深刻で、業界として持続発展するためには、各段階の役割分担の明確化と効率化が必要になってくると思います。そして何よりも商慣行の改善は自社が産地から選ばれる企業になる為に実行していきたいです。業界の無理無駄をなくすことは誰のためでもなく、自社の継続のため、業界の発展のためですので、各段階で改善を進めたいです。

さて、サミットのそれ以上の収穫は、成人式の対応についてです。サミット当日は京都市の門川市長は海外出張の為欠席の予定でしたが、前日の台風被害の対応で出張日程をずらして、きものサミットのパーティーに急きょ参加いただくことができました。そして、業界のそうそうたるメンバーから、京都市に20歳の式典を継続するようかなりプレッシャーをかけたそうです。その影響が9月19日の京都新聞で京都市が政令指定都市では初めて、2022年の成人年齢引き下げ後も、成人式を「20歳のつどい」という形で継続する考えを発表しました（裏面参照）。ちなみに全国に先駆けて「20歳を祝う成人の集い」の開催を神奈川県の子母市が発表しました。返子の呉服店の社長に伺いましたが、現実問題として18歳は進路の選択に関わる時期に当たるので教育的な配慮にて決定したそうです。また、8年分の成人式を同時に行うことは大きなリスクを伴うということも考慮されました。

きものサミットでも、「20歳のお祝いごと」として、現行の取り組みを変えることなく継続されることを業界として希望すると宣言されていますが、少しずつそのような流れができてきました。このような情報を業界内でしっかり共有し有効活用していきたいと思います。

日本橋丸上通信



株式会社 丸上

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-14
〔TEL〕03-3662-4416 / 〔FAX〕03-3666-2603

この通信に対するご意見お問い合わせは上達まで
直接お願いいたします。

Tel : 070-5518-0156

Mail : isaojotatsu@marujo.jp

HP : <http://marujo.jp/>

Blog : <http://marujo.jp/president/>

Instagram : <https://www.instagram.com/nihonbashigonomi/>



VOL.50 平成30年11月発行 発行人/上達 功

日本橋丸上の上達です。いつもありがとうございます。立冬を迎え、冬を感じる今日このごろです。今年は10月まで比較的暖かかったので、寒さを例年以上に感じる気がします。

さて、今回の案内状は“平成最後の決算市”です！そうです！！来年の4月で平成という時代が終わってしまいます。皆さんにとって平成はどんな時代だったのでしょうか？

平成は僕が中学1年生の時に始まりました。1月の寒い時期に昭和天皇がなくなり、小淵さんが“平成”と書かれた紙を記者会見で発表している映像をなんとなく覚えています。僕の場合平成は、中学・高校・大学の学生時代、日本IBMでシステムの営業をやっていた新社会人時代、丸上に入社してからの呉服屋時代の3つに大きく分けられます。僕らの世代にする人生で一番面白いとされる時期が平成という時代でした。

平成の間には天安門事件、ベルリンの壁の崩壊、湾岸戦争、地下鉄サリン事件、アメリカの同時多発テロなど少し前には想像もしなかった出来事も沢山ありました。災害も多く国内の地震だけでも中越地震、東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震などがありましたし、他にも多くの天災があった時代でした。

ざっと30年振り返ると本当にいろんな事がありました。また、来年増税が予定されている消費税も最初は平成元年に導入されたもので、消費税は平成の税金だったんですね。そして平成8年にはバブルが崩壊しました。その後日本の景気は失われた20年を迎えます。

この30年の商売のことを考えると、日本はバブルの崩壊による経済ルールの変化とインターネットの普及による効率化でビジネスルールの変化を迎えた時期だったように思います。特に平成19年発売されたスマホの登場は個人的には100年後にあれが時代の転換期だったねと言われることになると思ってます。

さて、来年5月以降の新しい時代はどんな時代になるのでしょうか？僕の考えでは“平成”は価値観がモノからコトに変わった時代だったと思いますが、次に来るのはコトからヒトの時代だと思っています。効率化が進めば進むほど、人は人とのつながりを大切にする生き物です。販売する商品も誰が作ったモノなのか？誰から買いたいのかが大切になってくる時代がやって来ます。ですので、丸上は今まで以上にヒトに投資していく会社にしていきます。

とはいえ、その前に“平成最後の決算市”ですので社員一同精一杯ご奉仕させていただきます。皆様のご来場心よりお待ちしております！

上達 功

日本橋丸上通信



株式会社 丸上

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-14
〔TEL〕03-3662-4416 / 〔FAX〕03-3666-2603

この通信に対するご意見お問い合わせは上達まで

直接お願いいたします。

Tel : 070-5518-0156

Mail : isaojotatsu@marujo.jp

HP : <http://marujo.jp/>

Blog : <http://marujo.jp/president/>

Instagram : <https://www.instagram.com/nihonbashigonomi/>



VOL.51 平成30年12月発行 発行人/上達 功

今年も12月に入り残り1ヶ月を切りました。毎年の事ながら時間が経つのは本当に早いですね。日本橋丸上は今月末が決算なので、本当に忙しいですがラストスパート頑張ります。丸上通信もこのお便りが今年最後となります。通信を書き始めて4年以上が経過しますが、今年も休まずに発行できました！

さて、毎年12月に京都の清水寺で今年の漢字が発表されますが、僕は3年前から来年の自分のテーマの漢字一文字を決めています。ちなみに今年の漢字は“笑”でした。“笑う門には福来たる”ではないですが、リーダーとして良い時も、悪い時もいつも笑顔でいるように心がけました。結果、今年はいろいろとラッキーなことが多い一年だったと思います。ちなみに僕が知っている元気なお店の共通点の一つは“明るい”ことです。

そして、来年の漢字は“伝”にしました。今年の反省としてはなかなか自分の考えをスピーディーに正確に伝えることができなかつたことを反省しました。今年は社長としてお客様、仕入先様、社員を含め多くの方々にちゃんと自分の意思を知っていただく努力をしていきたいと思ひます。

具体的には、こんなことをやっていきたいと思ひます。

- ① 自分の考えをしっかりと持ち、自分自身がその意思を信じられるように自己に伝える。
- ② 言葉を丁寧に選別することで、難しいことをわかりやすく伝える。
- ③ 対面でのコミュニケーションを増やし、相手のことを考えてに最適な形で伝える。
- ④ 丸上通信、ブログ、SNS、社内ツールなどを活用して継続的に情報発信して伝える。
- ⑤ 自分の考えを理解した社員を増やし、丸上の考え方や行動指針をお客様や仕入先様に対して実践することによって伝える。

よく考えると、“伝える”ってすごく難しいことです。人間には脳内に自分の興味の有無のフィルターがついているので、同じ話を聞いても覚えているポイントが人によって全然違ってくるんです。でも丸上の未来を考えると、ベースの考え方を統一することで、チームワークをよくしていく必要があります。また、お客様・仕入先様に対してもその考え方をご理解いただき、業界内でちゃんとした役割を果たしていく事が不可欠だと思ひました。

経営者は言葉を扱う仕事だと教えていただいたこともあります。大変なことですけど諦めずに続けていきたいと思ひます。

日本橋丸上 上達 功